

写楽 よみがえる素顔



[写楽 よみがえる素顔 下载链接1](#)

著者:定村 忠士

出版者:読売新聞社 (1994/12)

出版时间:1994/12

装帧:

isbn:9784643941036

影印:http://auction.thumbnail.image.rakuten.co.jp/@0_auc/image60/a8/bb/00010007960/46/8d/img00135991435.jpg

http://auction.thumbnail.image.rakuten.co.jp/@0_auc/image60/a8/bb/00010007960/46/8d/img00135991436.jpg

http://auction.thumbnail.image.rakuten.co.jp/@0_auc/image60/a8/bb/00010007960/46/8d/img00135991437.jpg

内容（「BOOK」データベースより）

長年の「写楽探し」にピリオド。写楽の絵の「目」は重大な真実を語っていた…。正体探しに結論を下す写楽論の決定版。

内容（「MARC」データベースより）

写楽の絵の「目」は重大な真実を語っていた。彼の描く顔は能面からヒントを得ている。写楽は斎藤十郎兵衛、能役者である。長年の写楽探しにピリオドをうった写楽論の決定版。

目次

第1章 東洲斎写楽

第2章 薦屋重三郎

第3章 時代と才能

作者紹介:

定村忠士

提供: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

移動: ナビゲーション, 検索

定村忠士（さだむら ただし、1932年1月2日 - 2001年10月30日）は、福岡県北九州小倉出身の編集者、評論家、劇作家。

日本フェノロサ学会、日本浮世絵協会会員。

目次

[非表示]

* 1 来歴・人物

* 2 著書

* 3 翻訳書

* 4 戯曲

* 5 脚注

来歴・人物 [編集]

旧制五高卒業。1954年、東京大学文学部仏文科卒業。のちに日本読書新聞・日本エディタースクールで同僚となる吉田公彦（旧名：谷川公彦。谷川雁ら谷川兄弟の末弟）とは、五高・東大とおしての同級生。

日本読書新聞に入社し編集者に。1958年の週刊読書人創刊による分裂時にも編集部に残り、編集長の巖浩の片腕として活躍。1962年からは編集長もつとめた。

1965

年には谷川雁らが創設したラボ教育センターに入社。のちの、ラボ教育センターの分裂時には、谷川と行動をともにし、1981年「十代の会」の発起人の一人[1]として同

会創立に参加。

また、日本エディタースクール出版部編集委員、同スクール講師をつとめた。

並行して劇作家としても活動。劇団「ぶどうの会」の文芸スタッフを務め、また、劇団民芸などに戯曲を提供した。

評論家としての著作には、伝説の蝦夷の王悪路王についての著や、ライフワークとして研究した浮世絵師写楽についての著などがある。

著書 [編集]

- * いま、北斎が甦る 浮世絵版画が摺りあがるまで 河出映像センター 1987.5
- * 写楽が現れた 推理ドキュメント 二見書房 1989.6
- * 中川一政生涯展図録 (編) TBSビジョン、1992
- * 悪路王伝説 日本エディタースクール出版部, 1992.6 ISBN 4-88888-807-8
- * ロシアのこころ・イコン展 毎日新聞社, 1993.1
- * イコン ビザンティン世界からロシア、日本へ 鐸木道剛共著 每日新聞社, 1993.2
- * 写楽よみがえる素顔 読売新聞社, 1995.1

翻訳書 [編集]

- * 写楽 ユリウス・クルト著 蒲生潤二郎共訳 アダチ版画研究所, 1994.12

戯曲 [編集]

- * マグダラの女
- * 悪路王と田村麻呂
- * グラバーの息子 倉場富三郎の生涯

ほか

脚注 [編集]

1. ^ 発起人は、谷川雁、根本順吉、間宮芳生、定村忠士、高松次郎、高野睦、C・W・ニコル、西藤和

「<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%9A%E6%9D%91%E5%BF%A0%E5%A3%AB>」より作成

カテゴリ: 編集者 | 日本の評論家 | 日本の劇作家 | 福岡県出身の人物 | 1932年生 | 2001年没

目录:

[写楽 よみがえる素顔 下载链接1](#)

标签

评论

[写楽 よみがえる素顔 下载链接1](#)

书评

[写楽 よみがえる素顔 下载链接1](#)